救急救命士導入支援アドバイザー 業務委託仕様書

1 業務名称

救急救命士導入支援アドバイザー業務

2 委託期間

令和5年10月1日から令和6年3月31日

3 業務目的

本業務は、医師や医療従事者の負担軽減、チーム医療の円滑化や生産性の向上に向け、また高度急性期医療をより安全かつ効果的に提供し、患者やその家族のQOL向上に貢献する救急救命士のその管理を目標とし、アドバイザー業務を委託することで体制構築を行うことを目的とする。

4 委託業務内容

(1) メディカルコントロール委員会の設置・運用支援

救急救命士による救急救命処置実施のための委員会を設置し、救急救命処置の範囲や業務の質を保証する体制など必要事項を抽出し円滑な運用ができる体制を構築すること。

(2) 実施可能な救急救命処置の範囲等に関する規定の整備

救急救命処置に関する規定の作成、救急救命処置の範囲等の決定等、救急救命処置に関する詳細な内容についての整備や院内マニュアルの作成を実施すること。

(3) 救急救命処置の検証（評価制度）を行う体制整備

救急救命処置実施に関する評価制度について貴院に沿った評価表の起案・作成を行うこと。

(4) 救急救命士導入に伴う説明会の開催

救急救命士配置後の関連部署へ調整や、救急救命士活用における説明会の開催をすること。

(5) 運営や業務改善等に関するアドバイス提供

医師・看護師から救急救命士へ移管できる業務や、救命士の活用の仕方など様々な視点から当院へアドバイスの提供を行うこと。

- (6) 初療に関する業務の教育及び指導、病院救急車（ドクターカー）に関する業務の教育及び指導
救急救命士に対し、初療に関する教育や指導、病院救急車運航に関する教育、指導を実施すること。
- (7) 病院救命士に対する継続的な質の管理、研修・再教育の機会提供
救急救命士に対し、研修等を行い、継続的な質の向上に努めることとする。
- (8) 委員会への参加
中部病院で開催される委員会について、本業務に関するものに関して、参加するよう努める。

※ (6) 及び (7) に関しては、中部病院において救急救命士配置次第行うこととする。

5. 業務手順

- (1) 本業務を着手するにあたり、速やかに業務実施計画書を提出し、業務内容及び実施工程を明らかにし、本院の承諾を得なければならない。また、これを変更する場合には双方協議の上、本院の指示を受けるものとする。
- (2) 受託者は、本院の担当職員と十分協議の上、業務を遂行しなければならない。
- (3) 業務にあたっては、逐次本院担当職員に必要な報告を行わなければならない。

6. アドバイザリーの要件等

- (1) 救急救命士又は医師、看護師の資格を有する者とする。
- (2) 救急救命センター等での勤務が3年以上の者とする。
- (3) (1) 及び (2) 両方を満たす者とする。

7. 成果品

- (1) 「4 委託業務内容」において作成した資料等
- (2) 業務実施報告書
- (3) 上記 (1) 及び (2) の電子データ

8. 成果品等の著作権等について

- (1) 成果品及び本業務において作成した資料等の著作権及び所有権は、沖縄県立中部病院に帰属するものとする。
- (2) 本業務の実施あたり、第三者の著作権その他の権利に抵触するものについては、受託者の

責任をもって処理すること。

9. 業務の再委託に係る注意事項

(1) 一括再委託の禁止

契約の全部の履行を一括又は分割して第三者に委託し、又は請け負わせることができない。また、以下業務については、その履行を第三者に委任し、又は請け負わせることができない。ただし、これにより難い特別な事情があるものとしてあらかじめ中部病院が書面で認める場合は、これと異なる扱いをすることがある。

① 契約金額の50%を超える業務

② 企画判断、管理運営、指揮監督などの総括的かつ根本的な業務

(2) 再委託の相手方の制限

本契約の応募者であった者に契約の履行を委任し、又は請け負わせることはできない。また、指名停止措置を受けている者、暴力団員又は暴力団と密接な関係を有する者に契約の履行を委任し、又は請け負わせることができない。

(3) 再委託の承認

契約の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ書面による中部病院の承認を得なければならない。ただし、以下に定める「簡易な業務」に支援したものを第三者へ委任し、又は請け負わせるときはこの限りではない。

<簡易な業務>

複写・印刷・製本

データの入力および集計

その他の単純作業的な業務であって、容易かつ簡易なもの